

富士フイルム 今夏の電力不足問題に向けた取り組み

## 全国 25 拠点全体でピーク時の使用電力 15%以上を削減

「自家発電設備の稼働率向上」と「電力使用状況の一元管理」などを実施

平成 24 年 6 月 28 日

富士フイルム株式会社(社長:古森 重隆)は、今夏の全国的な電力不足に対応するため、富士フイルムおよび関係会社のすべての大口電力需要 25 拠点全体で、ピーク時の使用電力 15%以上<sup>※1</sup>の削減を図ります。

富士フイルムは、昨夏、経済産業省の「共同使用制限スキーム」<sup>※2</sup>を活用して、東京電力管内の富士フイルム及び関係会社の大口電力需要 15 拠点の電力使用状況を一元管理し、電力不足問題に対応しました。今夏は、原子力発電所の停機により、電力不足が全国規模で深刻化する中、東日本大震災の発生以降、継続的に実施している各種節電施策に加え、主要 6 工場<sup>※3</sup>の自家発電設備の稼働率を向上させます。さらに、電力使用状況の一元管理を、全国の大口径電力需要 25 拠点到拡大して、今夏の深刻な電力不足問題に取り組んでいきます。

### 【今夏の電力不足問題に向けた取り組み】

(1) 期間:7 月 2 日~9 月 28 日

(2) 具体的な施策:

#### ① 天然ガス・コージェネレーション<sup>※4</sup>設備の稼働率向上などによる自家発電量の増加

・安定した電力確保と CO2 排出量削減のために、平成 15 年より主要 6 工場へ順次導入してきた天然ガス・コージェネレーション設備の稼働率のさらなる向上などにより、自家発電量を増加。

#### ② 使用電力量の計測・集計・監視システムの導入拡大による節電の徹底

・昨夏、東京電力管内の大口需要拠点のうち、11 拠点到導入した使用電力量の計測・集計・監視システムを、今夏では中部電力や九州電力管内の大口生産拠点などを加え計 23 拠点(25 拠点全体の電力使用量の約 95%をカバー)に拡大。  
・各拠点到使用電力状況をリアルタイムに把握することに加え、本部で一元管理し、緊急時には拠点毎に定めた追加節電策を実施する。

#### ③ 東日本大震災の発生以降実施している各種節電施策の継続展開

・LED 照明スタンドによるタスクアンビエント照明<sup>※5</sup>  
・オフィス・生産・研究開発拠点到での日中の照明・空調設備の休止  
・屋外広告灯の消灯 など

富士フイルムは、各種電力削減施策を継続して強力に推進していくとともに、環境諸課題に対し一歩先行した取り組みを行い、21 世紀の地球にとって最重要課題である“持続可能な発展”に積極的に貢献していきます。

- ※1 平成 22 年 7 月～9 月の最大ピーク使用電力に対して。
- ※2 複数の事業所が、合計の使用電力を目標以下に管理することを目的に協働するスキーム。
- ※3 富士フイルム : 神奈川工場足柄サイト、神奈川工場小田原サイト、富士宮工場、吉田南工場  
関係会社 : 富士フイルムオプトマテリアルズ、富士フイルム九州
- ※4 天然ガスを燃料として発電効率の高いガスエンジンやガスタービンにより発電を行い、その際に発生する排熱を蒸気や温水などで回収し、有効利用する熱電供給システム。
- ※5 オフィスの天井照明の照度を抑え、タスクライト(LEDスタンド)を用いて自席に必要な明るさを確保する「適所・適光」の照明方式。天井照明の節電に加え、天井灯からの放熱を抑えられるので空調負荷低減にも有効な地球環境に優しいオフィス照明。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

報道関係 広報部

TEL: 03-6271-2000

ホームページアドレス

<http://www.fujifilm.jp>